地域で助け合い、支え合うまちづくり

葛飾区福祉部地域包括ケア担当課

葛飾区では、高齢者になっても住み慣れたまちで安心して暮らし続けるために、地域の支え合いを推進する「生活支援コーディネーター」を平成 30 年 4 月から配置しました。地域の高齢者の方が多様な活動・サービスとつながる仕組みづくりを進めていきます。

地域

サービスの受け手としてだけでなく、担い手として地域を支える人材でもあります。

「あったらいいな」の実現

「ちょっと困った」の解消

◎情報発信
◎地域参加の働きかけ

◎情報提供
◎無理なくできる範囲で参加

高齢者総合相談センター

高齢者の身近な相談窓口であり、ネットワークの中核となります。

生活支援コーディネーター

・地域にある活動団体やサービス（社会資源）を把握し、情報発信していきます。
・生活上のちょっとした困りごとやニーズを把握し、解決に向けて調整していきます。

地域ケア会議

個別事例の検討から地域課題を発見し、地域のネットワークを構築します。

個別ケース検討型会議

医療機関、薬局、介護事業所、主任ＣＭ、自治町会、民生委員・児童委員、ＮＰＯ法人など

地域課題の抽出

課題解決型会議

医療機関、薬局
介護事業所、
主任ＣＭ、自治町会
民生委員・児童委員、
ＮＰＯ法人　　など

情報提供・連携

第２層協議体会議

地域主体で地域課題の解決策を考えます。
《日常生活圏域の情報共有・連携強化の場》
自治町会、民生委員・児童委員、ＮＰＯ法人、主任ＣＭ、介護事業所、民間事業者、地域住民代表　　など
★日頃地域で生活・活動している方々が参加

連携

◎地域（第２層）の活動支援
◎データ提供

◎地域（第２層）だけでは解決できない課題の共有・検討
◎政策提言

区役所

第１層協議体会議

区全域のニーズや課題を共有し、既存の地域資源の活用やサービスの開発について考えます。
《区全域の情報共有・連携強化の場》
社会福祉協議会、高齢者総合相談センター、シルバー人材センター、高齢者クラブ連合会、民生委員・児童委員連合会、自治町会連合会、介護サービス事業者協議会、ＮＰＯ法人